

## 手話言語条例とコミュニケーションの円滑化について

花田質問：東京デフリンピックを契機とした取組とICTやAIを活用した新しいコミュニケーション支援の導入について。

答弁：本市在住の方が日本代表選手で出場されることを機に、デフリンピックに関する情報発信を強化し、手話言語や聴覚障がい者の文化に対する理解をさらに深める。近年、ICTやAIを活用した新しい支援技術が開発され、実用化が進んでいる。新技術の活用を調査研究していく。

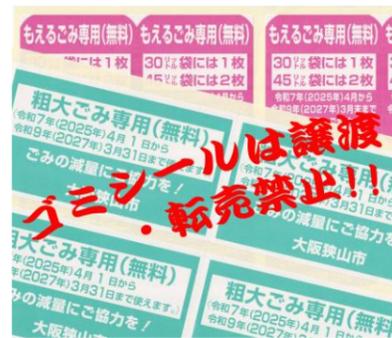
花田要望：聴覚に障がいのある方々だけでなく、多くの市民に利用しやすい行政サービスとなるよう、字幕を表示するシステムの導入を要望する。

東京2025デフリンピック女子サッカーでは、本市在住の酒井藍莉さんが銀メダルを獲得されました。

## 無料ごみシールについて

花田質問：シールの世帯構成区分の細分化、およびシールがフリマサイト等に出品されていることについて。

答弁：細分化は、南河内環境事業組合構成市町村の部課長会議等でも提案を続ける。ごみ処理券への譲渡禁止の表示など、効果が得られると見込まれる取組の検討を進める。



その他、令和6年度決算と財政収支見通しについて、自治体検診DXと情報連携について質問いたしました。

令和7年9月議会 代表質問

すべては、  
大阪狭山の未来のために。



大阪狭山市議会議員 / 無所属

# 花田 まさふみ

活動報告 第8号

南河内環境事業組合議会副議長  
総務文教常任委員会 委員長  
予算決算常任委員会 委員長  
議会改革特別委員会 副委員長  
を歴任

建築士、防災士、  
大阪府被災建築物応急危険度判定士

## 御挨拶

2025年12月、近畿大学から近畿大学病院等跡地の売却先が大和ハウス工業株式会社に決定したとの報告がありました。旧大学医学部・大学病院の解体工事は、2026年1月から2029年12月まで行われる予定で、地域の将来に関わる大きな動きとなります。市議会では「狭山ニュータウン再生調査特別委員会」を設置しており、提供された資料の精査や議論を重ね、市民の皆さまにとってより良いまちづくりにつながるよう取組んでまいります。

また、議会のデジタル化を進めるため、これまでタブレット端末を活用してきましたが、議場や委員会室等へのディスプレイ設置も求め、より分かりやすく開かれた議会運営をめざしてまいります。

さらに、このたび南河内環境事業組合議会の副議長を拝命いたしました。「すべては、大阪狭山の未来のために。」の思いを胸に、これからも「誠実に！熱く！まっすぐに！」尽力してまいります。



浦添市立森の子児童センター訪問



大阪・関西万博



議会質問

## 所属会派・委員会

○所属会派「共創みらい」 ○南河内環境事業組合議会 副議長 ○建設厚生常任委員会委員  
○予算決算常任委員会委員 ○議会改革特別委員会 副委員長 ○狭山ニュータウン再生調査特別委員会委員

## 横断歩道の安全対策について

花田質問：信号機のない横断歩道での一時停止率向上、横断歩道旗の設置、埋込型照明灯の設置について。

答弁：交差点カラー化や警察との見守り活動を実施。横断歩道旗は要望に応じて提供。埋込型照明灯は安全性の検証を踏まえ、国のガイドライン等を注視して研究していく。

花田要望：大阪府の一時停止率は全国ワースト2位。教育啓発や意思表示促進、道路環境改善を組み合わせ、安全対策を強化すべき。

## ふるさと納税返礼品にさやりんポイントを

花田質問：ふるさと納税返礼品として地域通貨「さやりんポイント」を活用することについて。

答弁：返礼品は地場産品に限る基準があり、加盟店や商品が限定されるため慎重に検討。返礼品拡充やプロモーション強化により寄附額は増加傾向である。

花田要望：ポイント付与時に地場産品を販売する店舗や飲食店を案内することで寄附者を誘導できる。地域通貨としての活用も検討すべき。

## インフルエンザ予防接種の点鼻接種助成について

花田質問：注射への恐怖感や痛みによる忌避感から、予防接種を控える児童生徒が存在する。鼻噴霧型インフルエンザワクチンは注射型と同様に任意接種であり、費用は概ね7,000円前後となっていることから、経済的理由により接種を断念する家庭も少なくない。助成制度導入について。

答弁：2歳から19歳未満対象だが任意接種であり、公費助成は困難。定期接種対象者への体制整備や感染症予防啓発に努める。

花田要望：経済的理由で接種を断念する世帯や、注射を嫌う児童生徒を減らすことは市民生活の安定に資する。過去の受験生への助成事例も踏まえ、改めて検討すべき。

その他、犯罪被害者等支援条例の制定について、質問いたしました。

令和7年12月議会 個人質問

## 住宅耐震化の推進について

花田質問：国土交通省では、令和6年能登半島地震における建築物の構造被害の原因を調査した。建築物を旧耐震基準、新耐震基準、現行規定の建築年代別に分け、被害の傾向を分析した結果、新耐震基準導入以降の木造建築物であっても、建築時期が1981年から2000年までのものは、それ以降の建築物よりも倒壊等の割合が高いことが示された。本市の耐震診断、改修の補助制度の対象は、原則、昭和56年（1981年）5月31日以前に建築確認を受けて建築された木造建築物であるが、新耐震基準で建てられ、現行規定を満たしていない平成12年（2000年）5月31日以前のもまでに拡充するべきと考える。

答弁：平成12年に建築基準法が改正され、木造の建築物に対する構造の基準が厳格化されたことは承知しており、現行の基準にまで耐震性能を引き上げることは、大変有効であると認識している。まずは、昭和56年以前の旧耐震基準で建てられた住宅の耐震化率95%の達成に向け、取組を進めていく。

花田要望：旧耐震基準で建てられた住宅を早急に耐震化し、耐震化率95%を達成する必要があるのは十分理解している。しかし、新耐震基準で建てた木造住宅の耐震診断や補強工事に係る費用への補助を、独自で行う自治体も出てきている。今年で阪神淡路大震災から30年となる。ボランティアで現地に向かったが、目の前に広がった地獄絵図は、今でも脳裏に焼きついて離れない。建築物は人を守るもので、人をあやめるものではあってはならない。熊本地震においても、1992年以前に建築された学生アパート3棟の1階が押し潰され、犠牲者が出た。本市においても、家屋が倒壊して人命が奪われるということはあってはならず、人命より大切なものはない。補助制度の拡充を求める。

その他、公用車への有料広告掲載について質問いたしました。

## 令和7年3月議会 個人質問

## 令和7年6月議会 個人質問

## GIGAスクール構想の更新後端末について

花田質問：GIGAスクール構想第1期の端末が更新時期を迎える。機器の調達数は5,019台だが、破棄される端末数も同程度ある。全数廃棄ではなく、OSをChrome OS Flexに更新し、破棄予定の端末を利活用することについて。

答弁：端末を廃棄することなくOSを更新し、利活用することについては有効な手法であると認識しているが、国の補助要件として端末入替えがある。また、個人情報漏えいを防ぐことが最重要で、個人情報の完全消去を進めている。しかし、今後も端末更新の際に国の補助が継続するのか未定であるため、他のOSへの更新やバッテリーの入替え等による再利用など、様々な端末更新について研究していく。

花田要望：図書館や公民館など公共施設への設置、各家庭での使用においても持ち運ばない前提であれば利活用は難しくない。また、身近に活用してきた端末が、更新に伴う利活用や廃棄、レアメタルを回収する等が、とても深い学習に結びつくので、今回の事業を児童生徒のSDGsの学習テーマとしてほしい。

## 避難行動要支援者支援の取組について

花田質問：災害時における要支援者の不安軽減や支援者の確保の取組として、損害保険会社と協力し、市が避難行動支援者向けの自動車保険に加入することについて。

答弁：地域によっては、避難支援等関係者の確保が困難な状況となっている。自動車等保険に加入することは、要支援者や支援者確保の一助になると認識しているが、要支援者を避難支援等関係者に、より分かりやすく伝達することで、個別避難計画の作成につなげていく。

花田要望：個別避難計画の作成は、地域共生社会づくりの取組の一つである。重層的な支援体制を構築することで、災害時の対応だけでなく平時の地域力の向上にもつなげることができる。

その他、悪質リフォーム事案等への対応について、本庁舎・文化会館駐車場の有料化について質問しました。

## ☆ 毎朝の見守り活動が2050日（10年半）を超えました ☆



2015年5月から始まった毎朝の見守り活動が、2025年11月で2050日を迎えました。登下校の見守り活動は、地域の皆様のご協力で継続されています。心から感謝申し上げます。毎朝登校する児童、自転車で通学する学生や、通勤される方々からもご挨拶をいただき、見守り活動と凡事徹底の大切さを実感しています。また、従前より長期にわたり見守り活動を行っていただいている皆様にも、改めてお礼申し上げます。



市民要望の停留所整備

### ●情報発信（日々の活動を発信しています）

- Facebook 花田まさふみ @MasafumiHanada1971
- Facebook 花田まさふみ事務所 @HanadaMasafumi
- Instagram @hanadamasafumi
- X(Twitter) 花田まさふみ @H\_Masafumi
- Threads 花田 全史 @hanadamasafumi
- 公式LINE 花田まさふみ市政事務所 @667xkfle
- HP <http://hanada-sayama.wixsite.com/home>



全国市議会議長会  
研究フォーラム



全国都市問題会議



自治体・公共 Week



自治体総合フェア



南河内環境事業組合  
議会研修

### ●プロフィール

花田全史(はなだ まさふみ) 1971年10月生まれ  
府立東百舌鳥高等学校、大阪工業技術専門学校 卒業  
建築士、防災士、大阪府被災建築物応急危険度判定士  
会派「共創みらい」所属

### ●お気軽にどうぞ！

日頃の困りごと、市政への疑問や不満など、なんでもご相談ください。  
電話 072-368-1153 Eメール hanada@osaka.nifty.jp  
〒589-0002 東野中2丁目1056-12  
発行：大阪狭山市議会議員 花田全史 / 企画・編集・デザイン：花田全史

